

フォス・コアの土地

について

フォス・コアの土地

フォス・コアはコア溪谷の岩刻画で知られるようになったが、この岩刻画は2万5000年前のものであるにもかかわらず、1998年にユネスコの世界遺産に登録されたことで世界に知られるようになった。

しかし、フォス・コアの土地には注目される理由がたくさんあり、豊かな自然と文化遺産には驚きと訪問の価値がある。

コア溪谷考古学公園 (Parque Arqueológico do Vale do Côa)

春先にはアーモンドの木が咲き乱れ、秋にはブドウ畑が燃えるような紅葉に覆われる、堂々たる山々が連なるポルトガル北東部地方。何千年もの間、その川底に並ぶ岩の地層は、現代の創造的衝動が遺した何千もの彫刻で覆われたパネルへと姿を変えてきた。実際、コア川の溪谷は、通常は洞窟の中で保護され、見学することができる旧石器時代の彫刻の膨大なコレクションを野外で見ることができる世界でもユニークな場所である。



現在、彫刻を見ることができる場所は3カ所あり、事前にガイドツアーを予約することができる：リベイラ・デ・ピスコス/ファリセウはムクサガタから、カナダ・ド・インフェルノはヴィラ・ノヴァ・デ・フォス・コアから、ペナスコサはカステロ・メリョールから。昼、夜、カヤック、ボートなど、さまざまな方法で訪れることができる。重要なのは、このユニークな体験をすることだ。

コア博物館 (Museu do Côa)

コア川とドウロ川という2つの川が合流する溪谷を一望できるこの建物は、アルト・ドウロ・ワイン地域とコア溪谷考古学公園という2つの世界遺産を結ぶ場所でもあります。現代建築の作品であり、一見の価値がある博物館では、彫刻とこの地域の歴史について学ぶことができる。



コアの散歩道 (Passadiços do Côa)

コア・ミュージアムから川までは、全長930メートルの遊歩道が続いている。渓谷の険しい斜面の段々畑と、ドウロ川とコア川の穏やかな流れが織り成す風景を楽しむには良い散歩道だ。



視点

ドウロ川沿いでは、ビューポイントに立ち寄って、この地域の息を呑むような風景を楽しむ価値がある。フォス・コアでは、町のカ

ミーニョ・ダ・コスタ展望台に加え、最寄りの村に少なくとも5つの展望台がある：Mós、Numão、Seixas、Custóias、Castelo Melhorである。ヌマン（Numão）には、10th 世紀に建てられたポルトガル統治時代の城跡がある。

ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアから川に沿って続くこの国で最も美しい道のひとつであるEN222は、ヴィラ・ノヴァ・デ・フォズ・コア市の小さな村アルメンドラで終わる。km222を示す石碑がある。



ファイア・ブラバ私有保護地域 (Área Protegida Privada da Faia Brava)

コア渓谷に位置し、彫刻が見られる場所のひとつ、ペナスコサ岩絵センターに近い。ポルトガル初で唯一の民間保護区では、ガイド付きツアーに参加し、マロネーサ牛、ガラノ馬、猛禽類など、大自然の中で自由に暮らす多くの生物を観察することができる。岩に刻まれた絵の中で最もよく知られているのは「オーロックス」で、この地方に生息する野生の雄牛を表している。

トラス・オス・モンテス地方は美食で知られ、フォス・コアも例外ではない。川で獲れる魚、子供のロースト、野ウサギやヤマウズラなどの狩猟料理、アーモンドのデザートなど、地元の特産品をお楽しみください。